

すべてのステークホルダーとの責任ある対話

オムロンは「サステナビリティ方針」の中で、「すべてのステークホルダーと責任ある対話を行い、強固な信頼関係を構築します」と宣言しています。ステークホルダーとの対話を通じた信頼関係は、オムロンの持続的な成長にとって欠かせない資産であり、ソーシャルニーズの創造をしていくために不可欠な要素です。私たちは、すべてのステークホルダーとの責任ある対話に取り組み、持続的な企業価値の向上と、事業を通じた社会的課題の解決に取り組んでいます。

ステークホルダー	主な取り組み	コミュニケーション手段	活動実績
お客様	事業を通じた社会的課題の解決を目指し、より良い商品・サービスを提供しています。	営業活動を通じたコミュニケーション	オートメーションセンタ(ATC)37拠点を活用したお客様との共創。 2020年度実績: ・グローバルでお客様対応のリモート化を実現 ・バーチャル空間を用いた展示内容の見学を実現(国内拠点:東京、刈谷 海外拠点:スペイン、シンガポール、北米エリアなど)
		カスタマーサポート	世界40か国150拠点以上のサポートネットワークにより、お客様のグローバル競争力向上に貢献。
		ユーザーモニタリング	ヘルスケア事業にて、モニタリング用住居環境スペースを設置し、モニタリング結果を喘鳴センサの開発に活用。 2020年に喘鳴センサWheezeScanがグッドデザイン賞を受賞。
		展示会	「中国国際輸入博覧会2020」(CIE)出展によるオムロンブランドの認知拡大。500件を超える商談機会を創出。
		WEBサイト	最新の情報とサービスを提供するWEBサイトを拡充。 BtoBサイトランキングでは14年連続総合1位を獲得。
取引先	グローバルに調達活動を行っており、仕入先様と共にサプライチェーン上のサステナビリティのレベルアップに取り組んでいます。	購買方針説明会 (グローバルパートナーカンファレンス)	主要仕入先様に対し、オムロンの経営方針・サステナブル調達の方針を共有。2020年度は1on1のオンラインミーティングを実施。
		サステナビリティセルフチェック	仕入先様自身によるサステナブル調達ガイドラインのセルフチェックの実施。2020年度対象の仕入先様であるアジア・パシフィック19社から遵守状況を確認。
		第三者基準での評価	RBA*の評価ツールを用いた自主チェック実施。サステナビリティリスクを特定した仕入先様69社に対する是正行動の実施。 *RBA: Responsible Business Alliance(責任ある企業同盟)
		環境負荷低減に寄与する「グリーン調達」	グリーン認定・更新の実施。2020年度はさらに92社を認定し、累計3,026社が評価完了。有害化学物質を含まない材料を積極的に採用し、サプライチェーン上の環境負荷低減に寄与。
		紛争鉱物調査	業界標準規格の紛争鉱物調査帳票を採用し、サプライチェーンを遡った調査実施と是正措置の実施。 環境破壊・人権侵害に及ぼさない調達を推進。
社員	社員の能力や情熱を解放し、思う存分に発揮できる企業づくりに取り組んでいます。	VOICE (グローバル社員エンゲージメントサーベイ)	経営陣が全社員の声を聴き課題解決を図るエンゲージメントサーベイを実施。2020年度は、オムロングループ全社員28,006人に対し調査を実施(回答率90%)し、40,453件のフリーコメントから、経営課題を特定。解決に向けてアクションを起こすべく、執行会議で議論。
		社長との直接対話の場「The KURUMAZA」	企業理念をオムロン発展の原動力にすることを目的とした社員と社長の直接対話を実施。
		会長との直接対話の場「企業理念ミッションナードialog」	企業理念の実践を組織に根付かせるための経営幹部との直接対話。2020年度は、海外エリア含め計3回をオンラインで実施。
		TOGA (The OMRON Global Awards)	ゴールド賞に輝いたチームが京都本社に集い企業理念実践のチャレンジを役員、社員に対して共有し称賛を受けるイベント。2020年度は、リアルとオンラインのハイブリッド開催。 社内外15,000人が参加し企業理念実践に対する共感・共鳴の輪を拡大。
		健康経営宣言「Boost5プロジェクト」	社員の健康を重要な経営基盤として捉え、健康状態の見える化・分析に基づいた「オムロン健康白書」を発行。
株主・投資家	「透明性の高い経営の実現」を目指し、株主・投資家との双方向コミュニケーションに努めています。	決算説明会/ESG説明会/ 個人投資家向け説明会	決算説明会(4回)、個人投資家向け説明会(2回)、ESG説明会、機関投資家との面談(570回以上)をすべてオンラインで開催。従来同様の透明性の高いIR活動を実現。
		定時株主総会	オンライン配信を実施。会場への来場者72名、ネット中継アクセス407名。議決権行使率は過去最高の88.1%。
		IR関連冊子の発行	統合レポート、株主通信などIR冊子の発行による積極的な情報開示を実施。
		IRサイト・サステナビリティサイトの企画・運営	決算関連資料等のタイムリーな情報開示。非財務情報の充実。

■ お客様との対話

生産現場を再現した最先端なFA技術の 集積拠点『オートメーションセンタ』のバーチャル拠点オープン

オムロンは、製造現場の課題をお客様と共に解決するファクトリーオートメーション技術の集積拠点「オートメーションセンタ(ATC)」のバーチャル見学を開始し、新型コロナウイルスによる移動制限の中でも、お客様と課題解決に取り組んでいます。

国内外37か所あるATCのうち世界最大の旗艦拠点「ATC-TOKYO」の施設や展示デモ機をバーチャル上に再現したコンテンツをパソコン上で見学できるようになり、世界中のお客様が、時間や場所の制約なく、オムロンの最先端FA技術をリアルに体感できます。その後、ご要望に応じてリモートで中継し、「実証・検証」、「技術トレーニング」など多くのソリューション・サービスにより、お客様の設備に近い環境を再現しています。

これらのプロセスを踏むことで、緊急事態宣言下でも4,000名以上のお客様との対話を実現し、日々革新的なソリューションを生み出しています。



実際に見学しているような実感が味わえる、3Dウォークスルーを活用したバーチャルATC-TOKYO



デモ機の見学イメージ

■ 社員との対話

従業員エンゲージメントサーベイ「VOICE」

オムロンでは、2016年より経営が社員の声を直接聴き、経営課題を特定し解決に向けてアクションを起こすことを目的としたグローバル社員エンゲージメントサーベイ「VOICE」を実施しています。事業を支える基礎となる組織マネジメント、制度、人材開発、組織風土等に焦点をあて、オムロングループ社員それぞれが、企業理念・戦略・組織目標を理解・腹落ちして、そこに向かって、自らの力を発揮しようという気持ち(エンゲージメントが高い状態)で仕事に取り組める会社づくりを推進しています。



社員にVOICEへの回答を呼びかけるポスター

企業理念ミッションリーダイアログ

次世代のリーダーとなる世界各地の経営幹部と取締役会長による、企業理念に対する対話の場、「企業理念ミッションリーダイアログ」に2013年度から取り組んでいます。参加者は、ダイアログをつうじ自分にとっての企業理念の実践とは何かを自らの言葉で語り、表出します。参加者自身が企業理念に対する理解を深めることに加え、自らがどのようにして組織の成長に貢献するか、また、自部門のメンバーに企業理念に対する共鳴の輪を広げるかを議論します。2020年度は、コロナ禍により初めてオンライン形式で実施しました。オンラインとすることで多くのメンバーが参加できたとともに、チャット機能などを活用することで、より多様な意見が交わされました。



企業理念ミッションリーダイアログ

■ 株主・投資家との対話

コロナ禍における株主総会・ESG説明会の開催

オムロンは、株主・投資家の皆様との対話を通じた企業価値向上に取り組んでいます。2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、第83期定時株主総会やESG説明会をオンラインで開催しました。定時株主総会は、現地での参加者数を抑えながら、インターネット中継も活用し、多くの株主・投資家との対話を実現しました。これらの取り組みにより、議決権行使率は3.7ポイント増の88.1%と過去最高となりました。ESG説明会では、オムロンの事業や企業理念経営を軸とした人材に関する取り組み、サステナビリティと環境への取り組み、エネルギーソリューション事業の取り組み、気候変動に関する取り組みに関する説明を行い、株主・投資家など225名(内投資家は過去最高の170名)が参加し、多くのご質問・ご意見をいただきました。

このような対話から得られた知見は経営の取り組み改善につなげています。コロナ禍においても、株主・投資家の皆様との透明性の高い情報開示に努めていきます。



第83期 定時株主総会
(2020年6月23日)



2020年度 ESG説明会
(2021年3月1日)